

こくりにゆうだより



2月号
February

大阪府立桜塚高等学校 2年 菅野 なつ美
「とても大きいチョコレートケーキ食べたいです」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなが国際交流センターで開催します。



メディアリテラシー入門講座

子どもとメディア

2月15日(土)

10:00~16:00

子どもが触れやすいメディアを中心に分析し、その影響を考察する。

定員:30名(申込先着順)

参加費:500円(賛助会員は無料)

講師:田島智之さん(京都府立大学講師)
登丸あすかさん(文京学院大学助教)

申込:2/14(金)までに電話・来館受付。

保育:無料(2/7(金)までに要申込・1人300円)

外国人親子のための

小学校入学準備説明会

2月28日(金)

12:30~13:30

日本の小学校生活についての説明・相談会。英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、タイ語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語の通訳あり。

定員:20名(申込先着順)

参加費:無料

対象:就学前の子どもを持つ外国人
保護者(子ども同伴可)

申込:2/27(木)までに電話・来館受付。

春期ホストファミリー

ボランティア登録説明会

3月8日(日)

14:00~16:00

留学生と交流するホストファミリー事業(家庭宿泊なし)の説明、経験者や留学生との懇談ほか。

定員:30名(申込先着順)

参加費:無料

申込:3/7(土)までに電話・来館受付。

保育:無料(3/3(火)までに要申込)

みんなで祝うクリスマス



フルーツバスケットをしたり
お絵描きをしたりしています



メインイベントのピニャータ!

FYAHC

12/8(日)、フィリピン人の中高年のための居場所づくりをおこなう

「FYAHC(フィリピン・ヤング・アット・ハーツ・クラブ)」のメンバーが中心となって企画し、約50人の参加がありました。

昨年度も盛り上がったクリスマス会ですが、今年も子どもから大人までが参加し、クリスマスを祝いました。私も会に参加しましたが、サンタはもちろん、ミッキーマウスや阪神の応援団など、みんな思い思いの衣装に身を包み、なんでもアリな感じが何とも言えず、心地よかったです。

また、去年に引き続き、クリスマス会の企画のひとつ、豊中市の出張健康講座も好評でした。クリスマスのごちそうを目の前にしながら、参加者は糖質の話にくぎ付けでした。みなさんが健康に来年もクリスマスが迎えられるように願うばかりです。(協会職員・黒島トーマス友基)



こども母語・サンプレイス

12月22日、日曜日に実施している外国にルーツを持つ子どものための母語教室「子ども母語」と「学習支援・サンプレイス」に参加する子どもたち、ボランティアと一緒にクリスマス会を開催しました。それぞれの活動に参加する子どもたち同士の横のつながりを作るため、こうした合同イベントを定期的に開催しています。

今回は自己紹介とミニゲームをしたあと、みんなでローストチキンやピザを食べながらおしゃべりを楽しみました。メインイベントは、ボランティアが1か月前から作り始めたピニャータ*です。音楽と共に踊りながらピニャータの周りをぐるぐる回り、棒でたたき割ると大量のお菓子が!子どもたちは夢中になってお菓子を集めていました。とても楽しいクリスマス会となりました。(協会職員・山根絵美)

*ピニャータとは中南米で子どものおまつりなどでよく使われる、中にお菓子やおもちゃなどを詰めたくす玉のこと

12月21日(土)開催

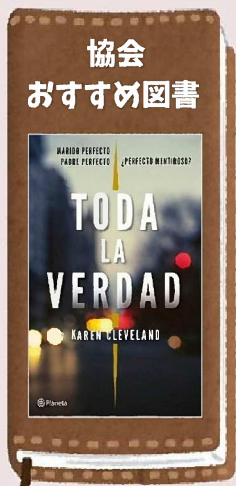
おまつり地球一周クラブ チョアチョアコリア

まず写真を使った韓国紹介クイズ、次に一覧表を見ながらハングルで自分の名前を書く練習をしたり、日本語の単語をハングルで書いてクイズを出しあったり、と子どもたちにハングルに親しみをもらうためのプログラムが続きました。さらに韓国語の音楽と映像に合わせて「頭・肩・膝…」と順番に体の部分を触りながらダンスをし、子どもたちはとても盛り上がりました。最後は韓国のり巻き作りにチャレンジ。卵やハムなどの具を入れて自分で巻いたのり巻きを口にほおばると子どもたちは笑みがこぼれていました。講師のイムスジョンさんが楽しくコミュニケーションを取りながら進めてくださったので、参加者は今まで以上に韓国に親しむことができましたよ。



講師に教えてもらいながら
みんなで上手に海苔巻きを
作ることができました!

子どもたちの感想を一部紹介します。「のりまきとてもおいしかった。ダンスたのしかった!かんこくすごいとおもった。」「キムパは思ったよりきれいに作れたしとてもおいしかったです。」(協会職員・大庭みゆき)



協会
おすすめ図書

TODA LA VERDAD (原題: 『NEED TO KNOW』 / 邦題: 『要秘匿』 Cleveland Karen 著)

決まって帰国する前、色々な本屋さんでより面白い本を探します。なぜかこの本を手にしたとき、読みたいと思いました。まさに今の時代にぴったりな本で IT関係は目まぐるしく進んでいくうち、遅れているのは人間だけではないでしょうか。

主人公はビビ (Vivian)。分析官としてアメリカのCIAで働いています。普通の生活を送り、4人の子どものも恵まれて、やさしい夫のマット (Matt) は子どもたちの世話をよくしてくれます。

ある日、テロ対策の任務で、国内で潜んでいるロシア人工作員のPCに入ったところ、表れた5枚の写真の一人は何と夫ではないか!!!そこからいろいろな疑惑や問題が出てきます。こんなにも完璧な夫はいるだろうか?そしてこんなにも完璧な嘘をつけるだろうか?そばにいる男は誰なのか?

本当に眠れないときにおすすめしたいベストスリラーです!英語からスペイン語にも訳されています。

(多言語相談サービス事業 スペイン語スタッフ・松本テレサ)

今回は、日本語交流活動と『若者のたまりば』に参加しているサチンマンにお話を伺いました。

——最初に国流に来たきっかけは何ですか？

父が12年前に、僕は2年前に来日しました。

日本で暮らすところが国流を知っていて、「あそこなら勉強もできるよ」と紹介してくれたのがきっかけです。

最初は「とよなかにほんご・木ひる」に参加しました。ボランティアの方が日本語をローマ字で書いてくれて、自己紹介でそれを読むだけでも緊張しました。

センターでやっている日本語の活動には全部参加して、「一日でこんなにできるなら、もっと勉強すればもっと日本語わかるようになるのかな?」と思って、夜間中学に通い、高校でも勉強を続けています。

——日本語の活動以外にも、若者の活動にも参加していますよね。活動の中身は全然違いますか？

全然違いますね。若者のたまりばでは、勉強というよりは、みんなで料理をしたり、その場にいる誰かに相談したり、とにかく誰かと話して、ゲームもやるし。毎回中身がちょっと違う。でもそれがいいのかもしれない。

——まだまだ日本語の勉強もし足りない？

日本人でも日本語は難しいっていうくらいだもん(笑)。でも日本で暮らしていく、生きるためには日本語は必要だと思っています。できるようになるとどんどん楽しくなりますね。



若者のたまりば
サチンさん

コラム

少しだけ北の国から@福島 (第20回)

辻 明典

協会事業（哲学カフェ、プロジェクト“まんがふえ”等）に参加していた辻明典さんが、2013年度より故郷である福島県南相馬市に戻り、教員をしています。辻さんからの福島からの便りをどうぞ。

個人的な話なのですが、先日、教員になって初めて教えた学生たちの成人式がありました。僕がとよなか国流にお邪魔していたのは、まだ自分が学生だった2011~2013年ごろ。その後、福島に戻ってから出会った学生たちです。出会った日から、気づくと約七年の月日が流れていました。きっと苦勞も重ねて、悩んだこともあったはずなのに、立派な成長を遂げていて、僕の方が勇気付けられてしまいました。

小学校5年生の頃に、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故がおこったので、津波の被害にあった人も、仮設住宅から通っていた人も、避難生活を経験した人もいました。転校や避難で離れ離れになってしまった友達もいたでしょう。失った悲しみを胸の奥にしまいこんで、気丈に振舞おうとしていた人も、きっといたと思います。誰であっても、人生は悲喜こもごもで、もがき、悩んでも、それでも生きなければならぬ。たとえ、（一応）民主主義体制下で、世界で初めての原発事故が起こってしまったとしても、それでも人生は続くのです。

ある日の授業で、「なんのために、人間は生きているんだろう?」と、哲学カフェのように対話をしたことがありました。とても和やかな雰囲気の中であったと記憶していますが、ある一人が「今まで『どうして生きているんだろう?』と考えていたけれど、最近は『どうやって生きていこう?』って考えています。」と、勇気を出して話してくれました。まだ悲しみが残っているこの土地で口に出されたその言葉は、胸に刺さりました。僕はといえば、「そうだね・・・生きていてよかったと思える瞬間が必ずあるから、生きているんじゃないかな。」としか言えなかったことを思い出します。

ああ、あの頃、自分にできたことは何だったのだろう。自分にできたことといえば、ただ話を聞いてあげることぐらいしかなかった。そう思いながらも、大人の顔つきになったみんなの顔を見て、感慨深い思いに浸ってしまいました。

【イベント告知】メディアリテラシー入門講座「子どもとメディア」

メディアリテラシーとは、テレビや新聞、インターネットなどのメディアの伝える情報を主体的に読み解いたり、見極めたりする能力をさします。

スマホなどの普及により、私たちはあらゆる場所にメディアを持ち込み「メディアといつも一緒に生活」しています。この急速な変化によって、子どもとメディアの関係はどのように変わっていくのでしょうか。

今回は昨年度に引き続き、「子どもとメディア」をテーマに、講座を実施します。皆さんぜひご参加ください！

(協会職員・黒島トーマス友基)

メディアリテラシー入門講座 「子どもとメディア」

日時：2月15日(土)10:00~16:00

会場：とよなか国際交流センター

講師：田島智之さん(京都府立大学講師)

登丸あすがさん(文京学院大学助教)

定員：30名(申込先着順)

参加費：500円(賛助会員は無料)

申込：電話・来館にて受付。

06-6843-4343

保育：2/7(金)までに要申込。1人300円

2020 2月 の事業開催カレンダー

赤字はイベントです。イベントの詳細は表紙下部をご覧くださいか、
とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
27	28	29 休館日	30	31	01	02 貸室利用抽選会 目的利用：～5月末まで 一般利用：～4月末まで
03 もっど	04 おやこ 学楽多	05 休館日	06 木ひる にこにこ 千里	07 金あさ にこにこ 相談 学楽多	08	09 がちゃ 母語 サンプル 若者
10 もっど	11 建国記念の日 Unlearn学びほぐしセミナー 13:00～15:00	12 休館日	13 木ひる にこにこ 千里	14 金あさ にこにこ 相談 学楽多	15 つどい メディアリテラシー講座 10:00～16:00	16 がちゃ サンプル 若者
17 もっど	18 おやこ 学楽多	19 休館日	20 木ひる にこにこ 千里	21 金あさ にこにこ 相談 学楽多	22	23 天皇誕生日 がちゃ 母語 サンプル 若者
24 振替休日	25 おやこ 学楽多	26 休館日	27 木ひる にこにこ 千里	28 金あさ にこにこ 相談 学楽多 小学校入学準備説明会 12:30～13:30	29 ATOMS振り返り会 (事業評価会) 10:00～14:30	01

センターが主催する定例事業

- 月曜日…もっどもっどつかえるにほんご 10:00～12:00
※ひらがな・かたかなが書ける人が対象
- 火曜日…おやこでにほんご 10:00～12:00
(千里・岡町・庄内の各図書館で実施)
- 子ども学習広場「学楽多」 16:30～21:00
(庄内ガダバで実施)
- 木曜日…とよなかにほんご・木ひる 13:30～15:20
多文化こども保育にこにこ 13:30～15:30
千里にほんご 10:00～11:30
(千里文化センターコラボで実施)
- 金曜日…とよなかにほんご・金あさ 10:30～12:00
多文化こども保育にこにこ 10:30～12:00
外国人のための多言語相談 11:00～16:00
子ども学習広場「学楽多」 17:00～19:00
- 土曜日…韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい 9:30～11:30
※毎月第3土曜日のみ
- 日曜日…にちようがちゃがちゃだん 10:00～12:00
こども母語※第2,4日曜日のみ 10:00～12:00
学習支援サンプルイス 13:00～15:00
若者のたまりば 17:00～20:00

場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。
定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

今月のピックアップ

外国人親子のための 小学校入学準備相談会

小学校ってどんなところ？どんな準備が必要？入学したら、どんな生活になるの？

就学前の子どもを持つ外国人の保護者を対象に、入学にあたって必要な準備についての相談会を開催します。

英語、中国語、韓国・朝鮮語、フィリピン語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語、タイ語の通訳もあります。



とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゅうだより」第130号(2020年2月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00～21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中!

とよなか国際交流センター」で検索!

多言語情報
配信しています!

